

## 編集 後記

日本公衆衛生学会誌は創設以来 B5 版でしたが、平成 20 年 1 月に A4 版に変更する予定です。それに伴い、会員に学術論文以外に有用な情報を提供できないかとの意見が出され、編集委員会で検討を重ねてきました。この計画に関しては、学会の期間中に開催された拡大編集委員会でも議題として取り上げ、査読委員の先生方からも意見を伺ったところです。

その結果、当面、①厚生労働省、環境省、文部科学省等の行政の動きから、会員が関心を引くと思われる情報をコンパクトにまとめる。②一定のテーマに関して種々のトピックスを連載する。③研究手法の解説等、教育的内容に関するものをシリーズで行う。④学会での教育講演やシンポジウムの内容を演者にまとめてもらう。⑤その他会員にとって有益な情報を掲載する。という案では意見がまとまりました。

特に②、③に関しては、原稿の執筆を直接担当する必要はありませんが、編集委員は任期中一回程度その企画を担当することとなります。また、①に関しては、他の関連する雑誌の内容と一部重複する部分もあり、その目的や意義を明確にする必要がありますが、関心を引く内容の詳細は別途会員が他の手段で調査することとし、大きな行政の流れが 1 月単位で把握できることを期待しております。④に関しては学会長のご理解ご協力が必要と考えております。今後、さらに詰めなければならない事項もありますが、当面この 4 月号から①を開始することとなります。次いで数ヶ月遅れて、②、③が加わります。

今回は B5 から A4 という形式上の変更でしたが、この機会を利用して内容の変更にも挑戦することとなりました。学術論文という少し硬い部分以外にも、気楽に情報を収集できる、少し柔らかな部分を追加してみます。この追加部分では、会員の皆様には、関心のある研究領

### 5号予告 (第54巻・第5号)

#### 総説

高齢者の「閉じこもり」に関する文献学的研究  
研究動向と定義・コホート研究の検討

……………平井 寛, 他

#### 原著

未成年喫煙者への禁煙支援に影響を与えるニコチン置換療法等の要因の検討……………辻 恵, 他

Intervention study for promoting partnerships between professionals and self-help groups of families of individuals with severe mental illness in Japan ……………Masako KAGEYAMA, et al

#### 公衆衛生活動報告

JR 福知山線列車脱線事故にかかる尼崎市保健所の対応……………高岡道雄, 他

#### 資料

パーキンソン病患者の在宅療養生活と介護サービス利用についての現状調査……………藤井千枝子, 他

域のトピックスで楽しみ、研究方法に関して勉強をする、さらには新しい研究を開始するきっかけを得ていただけだと思います。

歴史と伝統のある学会誌ですが、その内容としてふさわしくないのご批判を受けるかも知れません。また、企画は良くても内容のレベルが低い、企画自体がつまらない等の批判もあるかと思いますが。会員の皆様からは、多くの建設的なご意見を頂き、会員にとって有益なコーナーとして充実を図ってまいりたいと思いますので、当分の間暖かく見守って頂ければ幸いです。そしてより多くの会員が学会誌を身近に感じて、より楽しく活用していただけることを期待しております。(大久保一郎)